神田通信力

新年のご挨拶

神田地区まちづくり協議会
会長　藤居　徳昭

新年明けましておめでとうございます。昨年は、誰もが今までに経験したことのない一年でした。新型コロナによって世界中が振り回され、私どもの神田地区におきましてもまちづくりとしての各種行事を行うことができませんでした。町民相互のコミュニケーションとふれあいの場の提供ができなかったことが残念でなりません。今年こそは「盆踊り」「敬老会」「運動会」「文化祭」にて触れ合いの場を持てることを切に願います。

さて、こんな中でも各役員の方々並びにまちづくりセンター職員の皆様には、いろいろとご苦労頂きありがとうございました。七月と九月のグラウンド除草は密を避ける為、自治会長様と職員の方々のみで行って頂きました。

しかしながら、暗いことばかりではありません。神田地区の未来に向けて進めるべきことは確実に前進しております。昨年六月に立ち上がりました「まちづくりセンター建設準備委員会」では、長浜市との打ち合せを含め十数回の会合を行いました。町民の皆様への説明も近々できるかと思います。また、神田スマートインターにつきましては、皆様もご存じのとおり長浜市が約四千万円の予算を掛け事前調査が始まり、昨年末には県への申請というところまできました。スマートインターありきではありませんが、インフラ整備はまちづくりの大きな起爆剤となります。そして南長浜を発展させるべく西黒田地区・田村地区・神田地区とで昨年十月に「南長浜地域のまちづくりを推進する会」が発足しました。コロナ禍でテレワークが広がり都市集中の社会構造に疑問が持たれるようになり、会社に集まって仕事をするのが当たり前の社会から在宅勤務の方が企業のリスクが少ないことも判ってきました。この南長浜地区は、大きなポテンシャルを持った地域です。①自然災害が少ない〈台風の被害が少ない〉②駅が近い特に新幹線の駅もある③スマートインターができれば高速道路とのアクセスは最高です。リスク分散を考える企業なら社員の移住先として最高の候補地ではないでしょうか。「災い転じて福となす」の例えではないですが、コロナの昨年を嘆くのではなく明るい神田地区の未来に向けて町民みんなで希望を持って進んでいきましょう。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして最善の年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

編集
神田地区
まちづくり
協議会
（事務局）
神田まちづくり
センター
TEL62-7037

神田のいいところ フォトコンテスト★結果発表★

テーマを風景・生活・行事・人等神田にちなんだ写真を募集しましたところ、二十六点の作品のご応募がありました。文化祭（作品展示）の来館者に投票いただき受賞者が決まりました。（なお銀賞については同数が3名でした。）

☆金賞☆小八木雷太（らいた）さん
タイトル「せぇーの!!!」

☆銀賞☆茂森 基弘（もとひろ）さん
タイトル「夜の北陸縦貫道」

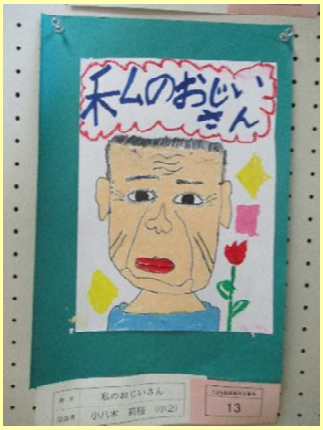
☆銀賞☆辻川 原蔵（げんぞう）さん
タイトル「神田溜鯉（恋?）の季節」

☆銀賞☆伊藤 忠司（ただし）さん
タイトル「なかよし、コミュニケーション」

神田っ子（1歳～小学生の子ども）絵画コンクール★結果発表★

作品総数13点、年少から小学6年生までご応募いただきありがとうございました。どの作品も力作で、11月1日～8日開催の文化祭（作品展示）にて来館者の投票により入賞者が決まりましたので発表いたします。

☆金賞☆小八木莉桜（りお）さん（小2）



タイトル「私のおじいさん」
～力強さが伝わりますね～

☆銀賞☆伊藤 遥絆（はな）さん（年長）
タイトル「汽車に乗れて楽しい」
～細かいところまで描かれてますね～

☆銅賞☆後藤 結南（ゆな）さん（小3）
タイトル「貝殻」
～色使いがきれいですね～

おめでとうございます

神田まちづくりセンター建設準備委員会より

６月からのべ、１１回の委員会にて協議を重ね、神田にふさわしいそして“神田らしさ”を生かしたまちづくりセンターとするため基本コンセプトを策定しました。

○基本コンセプト「誇れる地域資産と一体となった楽しい時を味わえる施設」

それを可能にするために、以下の6つの観点から取り組みます。

①地域のアイコンとして、多くの人を魅了する場
☆気持ちよくサークル活動や個人活動ができる施設☆

②四季折々の自然（神田山・グラウンド・神田ため池など）を五感で感じられる場
☆神田山やグラウンド等外部とのつながりを気楽に楽しめる施設☆

③幅広い世代の多様な人々が気楽で快適に活用できる場
☆今以上に“神田らしさ”を感じられ長浜市内外から多くの人に気軽にそして快適に利用してもらうことができる施設☆

④デジタル時代を先取る多様な活動のできる場
☆オンラインという新しいつながりを生み出すことを可能にする施設☆

⑤災害時の避難所となる安心・安全な地域の拠点となる場
☆避難所として十分に運営できる機能☆

⑥地域の歴史や自然に配慮した場

地域の資産神田山とグラウンド

市内外から園児が遊びに来ます

毎年恒例の町民運動会

○『建物については、平屋建て。場所は上記コンセプトを満たす現在の施設と同様南向きで神田山の眺望や町民グラウンドとの一体化を図る場所。そして利用者動線を配慮して県道から建物入口までの距離は可能な限り短く。』と考えております。これらのことを「神田まちづくりセンター整備基本構想」として１２月２５日市長に提出いたしました。

豆から淹れます　コーヒーサロン

神田山を眺めながら“ほっと一息”至福の一杯を楽しんでもらおうと「コーヒーサロン」を再開しております。

当サロンのマスター木田　敦（栄町）さんが、こだわりの豆をハンドドリップで丁寧に淹れてくださいます。近ごろは常連さんもちらほらと増えてきております。

来年も月　１　回のペースで開催いたしますのでお越しください。（詳細は回覧にて案内いたします）なお、当サロンは感染対策をしながら開催しております。

手作りの看板
中川眞澄（北町）さん作

「南長浜地域のまちづくりを推進する会」十月二十五日　設立総会開催

長浜市南部地域の活性を図る上で重要な機能・役割を果たす神田スマートインターチェンジの設置や県・市道等及び周辺の発展と、それらを核とした新たな南長浜地域のまちづくりを推進することを目的として「南長浜地域のまちづくりを推進する会」を西黒田地区、神田地区、田村町より委員を選出いただき、発足する運びとなりました。会長・藤居徳昭氏（神田）副会長武田了久氏（西黒田）副会長辻村忠嗣氏（田村）に就任いただきました。今後南部地域活性化に向けてそれぞれの地域が共に考えながら、よりよい地域となるように手と手を取り合い進めていきます。

～癒しの光を～　神田イルミネーション

こころ揺さぶられるニュースが多い昨今、少しでも皆さんが暖かい気持ちになれるように、まちづくりセンター前にイルミネーションを飾りました。冬の夜に癒しの時間になればと。